

大津町議会 議会改革推進特別委員会行政調査報告

氏名 岩下 啓史

視察研修名：大津町議会改革推進特別委員会行政視察

研 修 先：①福岡県 志免町

②福岡県 粕屋町

期 日：令和7年11月20日（木）～21日（金）

研修テーマ：①議会活性化の取り組みについて

②議会活性化の取り組みについて

研修報告 意見・感想

1. はじめに

今回の福岡視察では、糟屋郡の志免町と粕屋町を訪れ、議会改革や議会の見える化、町民参加の仕組みづくりについて学んできました。どちらも福岡空港からも中心部からも近く、福岡市のベッドタウンとして発展してきた地域ですが、議会のあり方に強いこだわりを持ち、積極的に改革に取り組んでいるのが印象的でした。

大津町でも今後、「開かれた議会」「町民にとって身近な議会」をどのように実現していくのが重要になります。本報告書では、視察を通じて学んだ実践例と、私自身が感じたことをまとめています。

2. 志免町の取り組み

志免町では、議会を町民にとって近い存在にするための工夫が数多く実践されていました。

(1) 町民参加の取り組み：『志免町議と語る会』

- ・ 町民なら誰でも参加できる意見交換会。これまでに15回開催。
- ・ 令和4年度までは「議会報告会」だったが、名称を変えたことで参加が急増（33名→92名）。
- ・ 全議員がファシリテーターとして関わり、参加者から意見を引き出す役割を担う。
- ・ 最近では、グループごとの発表を町民自身が行うようになり、“参加型”がより浸透している。

○町民の声を議会運営委員会が整理し、一般質問や提言に反映させている点は大きなポイント。「聞くだけで終わらせない仕組み」が徹底されていました。

(2) 団体との意見交換会

商工会や地域団体とも意見交換会を実施。

申込制で60分程度。議会運営委員会が必要性を判断し開催する方式です。

(3) 見える化の工夫（広報・動画・議会体験など）

- ・ 議員紹介動画
- ・ 議会活動紹介動画
- ・ 公式 SNS の運営
- ・ 中学生との意見交換会
- ・ クールビズのため議会ポロシャツ作成
- ・ 親子の議会体験、吹奏楽コンサート in 議場 など

○楽しさ・親しみやすさが前面に出ていて、議会への「敷居を下げる工夫」が随所にあります。

(4) 私の所感

志免町では、議会活動そのものを「まちの活性化の一つ」と捉えているという印象を強く受けました。意見交換会が中心にあることで、自治の原点である“町民の声”が自然と政策形成に入り込める仕組みができています。

○大津町でも、町民の皆さんが「議会に声が届く」と実感できる取り組みを、段階的に進めていきたいと感じました。

3. 粕屋町の取り組み

粕屋町は、議会改革を制度として根本から見直し、仕組みそのものをアップデートしている自治体です。

(1) 議会基本条例の見直しと本格運用

- ・ 平成 24 年に制定された「議会基本条例」は、長く十分に活用されていなかった。
- ・ 令和 4 年度から本格的な検証を開始。

- ・ 外部研究機関の支援を得ながら、令和 6 年度に 12 年ぶりの改正を実施。

○条例をつくって満足しないという姿勢が重要で、実際に運用に踏み込んでいました。

(2) 反問権の活用

- ・ 合計 9 回行使。
- ・ 初期は町長の反論が感情的になる場面もあったが、近年は落ち着き、必要時に限定して行われているとのこと。
- ・ 職員に対して、必要なときは議論を正すために言うべきことは言うという指導がされており、建設的な議論に活かされている。

○目的は対立ではなく議論の精度を高めること。粕屋町ではその点が徹底されていました。

(3) 議会局の設置（九州初）

- ・ 令和 6 年度、議会事務局を「議会局」へ格上げ。
- ・ 議会局を“17 番目の議員”と位置づけ、議会と対等の組織として明確に分離。
- ・ 調査法制係を設置し、議会へ政策や制度の提案を積極的に行う体制に。
- ・ 職員 5 名で構成され、議員と並走しながら改革を推進。

○議会局が主体的に動くことで、議員の政策形成力が底上げされている点は非常に学びが大きいです。

(4) 私の所感

粕屋町の議会改革には、非常に前へ進む力を感じました。

特に議会局の存在は大きく、議員全員が議会改革特別委員会に入り、共通認識を持ちながら議会づくりを進めているのが印象的でした。大津町でも、議員間討議や政策立案のプロセスをより強化し、「共創型の議会」をつくっていく必要性を改めて感じました。

4. まとめ

今回の視察を通じて、志免町と粕屋町が共通して持っていたのは、「町政は町民のものだ」という強い意識でした。町民参加の仕組み、議会改革への本気度、議会局の主体性など、どれもが町民との距離を縮め、町政への信頼につながっています。大津町でも、こうした先進事例を参考にしながら、参加と連携を基盤とした開かれた議会を目指して、今後も頑張っていきたいと考えています。